

【技術の名称】 ニューバースパイルⅡ工法 ー先端翼付き鋼管を用いた杭状地盤補強工法ー (改定4)	性能証明番号：GBRC 性能証明 第09-02号 改4 性能証明発効日：2022年4月27日 性能証明の有効期限：2025年4月末日
	【取得者】 株式会社新生工務

【技術の概要】

本技術は、鋼管に2枚の半円形の拡底翼と、長方形の掘削補助刃を溶接接合した特殊部を鋼管に溶接接合し、この鋼管を回転させることによって地盤中に貫入させ、これを杭状地盤補強材として利用する技術である。

なお、本工法による補強地盤の鉛直支持力は、基礎底面下の地盤の支持力を無視して杭状地盤補強材の支持力のみを考慮することとしている。

【改定・更新の内容】

新規：GBRC 性能証明 第09-02号（2009年5月12日）

改定1：GBRC 性能証明 第09-02号 改（2010年12月20日）

- ・補強材厚さの追加
- ・適用建築物の変更

改定2：GBRC 性能証明 第09-02号 改2（2012年10月26日）

- ・補強材厚さの追加
- ・最大施工深さの変更

改定3：GBRC 性能証明 第09-02号 改3（2016年4月12日）

- ・副題の変更
- ・管理トルク値に関する記載変更
- ・適用構造物の規模の変更
- ・地盤調査の箇所数に関する規定追加

更新：GBRC 性能証明 第09-02号 改3（更1）（2019年4月1日）

改定4：GBRC 性能証明 第09-02号 改4（2022年4月27日）

- ・品質管理における不合格時の処置方法の変更
- ・補強材頭部処理方法の追加・変更

【技術開発の趣旨】

本工法は、拡底翼2枚を取り付けて支持力の増大を図るとともに、2枚の拡底翼間にすき間を設けて開端とすることで掘削能力を高め、施工性の向上を図っている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単杭状の補強材の鉛直支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「ニューバースパイルⅡ工法 設計・製造・施工基準」に従って製造、施工された補強材の許容支持力を定める際に必要な地盤で決まる極限支持力は、同基準に定めるスクリューウェイト貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。

○補強材の諸元

1) 補強材体

材質：JIS G 3444 に規定される STK400、STK490
あるいはこれと同等以上の機械的性質を有する材料

外径：76.3～190.7mm

厚さ：3.0～11mm

2) 拡底部

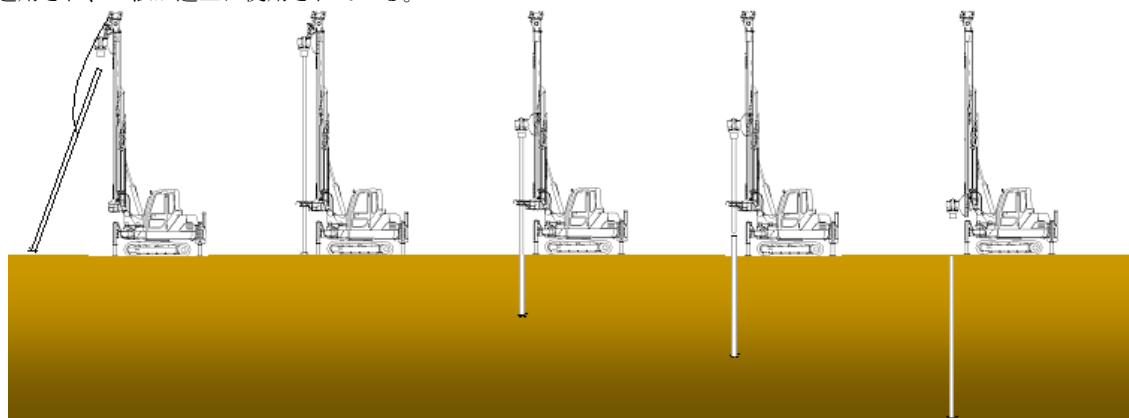
材質：JIS G 3101 に規定される SS400 又は、JIS G 3106 に規定される SM490A あるいはこれと同等以上の機械的性質を有する材料

直径：200～460mm

厚さ：6～25mm



写真 1 先端形状



①杭の建込み

②杭の固定

③回転貫入

④杭の接続

⑤完了

図 1 施工方法

【本技術の問合せ先】

株式会社新生工務 担当者：川崎 展資

〒463-0013 愛知県名古屋市中区小幡中 1-8-17

E-mail：kawasaki@shinseikomu.co.jp

TEL：052-758-1750 FAX：052-758-1751